

2024年度 秋号

Communication

通信



◆ 発行日 2024年10月 ◆ 発行  
〒211-0044 川崎市中原区新城 2-4-1  
セシーズイシイ2 401号室  
TEL 044-789-9812

認定 NPO 法人 フリースペースたまりば

<https://www.tamariba.org>

E-mail : [freespace@tamariba.org](mailto:freespace@tamariba.org)

## まあ要するに…最高です!!

「ええ、もちろん行ってきましても、島へ…」という事で、今年も恒例の八丈島合宿に行ってきました！昨年も参加者が多かったのですが、今年はさらに増え、総勢 56 名の大所帯。大荷物を持って船に乗り込む姿はまるで大名行列のようです。乗船後は早々に甲板へ移動し、見送りに来てくれた家族としばしの別れ。乗船から出発まで 20 分ほどあるのですが、その間「またねー！バイバーイ！」と謎に手を振り続けるのが恒例の儀式になっています。出発から消灯まではあっという間、ぐっすり寝て(?)起きたら一面の青い海！八丈島に到着です。今年の八丈島合宿のトピックをあげるのであればまず 1 つ目は到着初日深夜のこと。消灯後の 10 時ごろから次第に風が強くなり、テントやタープをバッサバッサと揺らし、しまいにはボキッとタープポールが折れてしまいました。その状況に気づかず眠り続ける子もいたけど、多くの子がその騒ぎにプチパニック！その後も強風が続き結局タープを広げられず、日中は日陰を探し回る合宿となりました。でもそのかわりに毎日満点の星空の下で眠ることができたの

はいい思い出です。トピック 2 つ目！これも強風が関係していることなのか、なんと今年は 1 度しかスコールに遭わなかったのです。日本の中でも南方

に位置する八丈島の雨の降り方は特殊で、これまでの合宿では 1 日のうちに数回スコールが起こるのが常。事前の合宿ミーティングでスコールとの付き合い方や対策をレクチャーするのですが

今年は杞憂に終わりました。今から来年大慌てのみんなの姿が目に見えます。トピック 3 つ目！この時期に遭遇することないと鷹を括っていたアイツ、クラゲがみんなの大好きな海に現れたのです。火山活動でできた八丈島は、人工のビーチでのんびりするよりも、底まではっきり見える透明度の高い海で魚を追いかけて泳いだり、防波堤から飛び込みをしたりするのが海での遊び方になります。その中でついつい夢中になりひとたび沖の方に近づくと、プカプカと漂いながら、人知れず近づく無数の魔の手…あっという間に奴らのテリトリーに入り込んでしまうのです。島の人によれば、気温の上昇に伴い海水温も高まり、それに強風も重なり 7 月下旬にも関わらずクラゲが出たのではないかとのこと（いけちゃんの推測を過分に含む）。まあ要するに今年の夏は異常だったよねということです。到着初日は八丈島の観測史上最高気温の 35 度を記録し、地元の人でも「今年はおかしい」と首を傾げていました。この事象から何を思い、行動するか…考えさせられますね。

まあなにはともあれみんな無事に最高に楽しい合宿を送ることができました。現地でお世話になった大好きな方々、本当にありがとうございました！是非また来



認定 NPO 法人  
フリースペース  
たまりば  
って…?

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

# たまりバラエティ

## 東日本大震災について考え続ける



毎月 11 日に続けている「東日本大地震についてみんなで考える日」。9 月はぜひ紹介したいことがあり、福島出身で今年度県教委から一年間研修にきて

いるトシちゃんと、震災飯のあとにお話をしました。普段みんなとバスケやサッカーをしているトシちゃんは、震災当時高校生でした。当時の状況や経験したからこそ感じていることなどの話を、みんな真剣な表情で聞き、質問をする子もいました。私は事務局長のあきさんと訪ねた福島県大熊町の認定こども園と大熊町立学び舎ゆめの森、特別な許可をいただいて撮影した、原発事故の帰還困難区域にある小学校等の写真を紹介しました。倒れた本棚やランドセル、黒板などが 13 年前のままになっている写真を見た小学生からは「私が生まれる前に大きな地震があったのはびっくり！いつ起きてもおかしくないんだね。」との感想が。現地を見てきて、トシちゃんの話聞いて、震災について考え続けることをこれからも大切にしていきたいと改めて思いました。(えづれ)

## メタバースで会いましょう♪

神奈川県教育委員会と県内のフリースクール等が協働して、メタバース空間を活用した新しい居場所の提供を開始しました。メ



タバース空間は、県在住の児童・生徒が自宅等のパソコンから自身がアバターとなって通うことのできるバーチャル空間となります。実際にフリースクール等で活動しているスタッフたちが、メタバース居場所のスタッフを曜日別に担当します(たまりばからは、えんスタッフのもぐが担当)。家から出ることが難しい状況にある人でも、自宅の PC からメタバース居場所にログインして、チャット、ビデオ通話、ボードゲーム、オンライン授業など、仲間やスタッフたちとの活動に参加することができます。期間は 2025 年 2 月末までの予定で、平日 13:30 から 16:30 までの間、開設しています。詳しく知りたい方は、えんスタッフもぐまで！(もぐ)

## 今年もよろしく！フリ・フリ・フェスタ



9 月 14 日(土)、フリ・フリ・フェスタ略して“フリフリ”に参加してきました！フリフリは、神奈川県内のフ

リースクールやフリースペースが集まって、お店を出したり舞台上で発表したり、不登校や引きこもり等の青少年や家族が参加してつくり上げるお祭りです。えんのみんなは、不登校当事者とその親の座談会の登壇、焼きそば販売、工房製品の販売、フォルクローレの演奏などなどに参加。焼きそばの焼き手デビューがあったり、楽屋でカードゲームをしたり、ゲーム大会に参加したり、お店で買い物をしたり…と、思い思いにフリフリを楽しんでいました。「今年もコロッケバーガーあった！」「来年は卓球復活するかな？」などと話しながら、“毎年恒例”の行事があるってなんかいいなと思うのでした。来年はフランクフルト食べたいな～。(はるひ)

## 居場所でありたい～えんくる～

フードパントリーという場所で、ただ「食べものを配る人」になるのが怖い。こんにちとは挨拶して物資を手渡して「ありがとうございました」と立ち去られるときに、スムーズだなどと思うと、そのことを覚えていようと強く思う。ここに来たら食べものがあると思って来てくれているのは、これからも続くとは限らないと思うから。渡す私も受け取る人も、なにかの役を演じているわけじゃなく生身だから。「ただ食べものを渡すだけ」の人にはなれない。もらいっぱなしがしんどくなることを知っているから、スムーズが怖い。だから、なにか交換されるべきものを見落としたりしたのではないかしらうし、しんどいあげっぱなしには穴を開けなければと、関係しなければと思う。もちろんその人とどこかで誰かが繋がってればいい。でも心は揺らぐから、えんくるは、そういう気持ちをやりとりできる居場所でありたいと思う。(なる)



指定管理施設

## 『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1  
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059  
<https://www.yumepark.net/>



# ブリュッケだより

～玉ねぎとブリュッケと私～

今回のブリュッケだよりは、玉ねぎ好きの林が書いています。

今年からブリュッケのお昼ご飯で出た玉ねぎの皮を集めて、玉ねぎ染めをするようになりました。染めたハンカチは前回のブリュッケだよりで紹介した地域のイベントなどで売っています。皮を煮出した液に、ゆらゆら布を動かしながら染色する時は一人で集中しますが、作品の命名はみんなで集まってわいわいやりました。写真の作品名は「やんやか花ざかり」。他にも「月面散歩」や「足のレントゲン」など独創的でカッコいい名前がつけました。

ちなみに、素敵な玉ねぎ染め作品は11月29日から12月1日に



神楽坂の「STORIES TOKYO」で開催される「こだわりの材料展」にも出店予定です（出店日は未定です）。メンバーのオリジナルキャラクターグッズや編み物小物も出品するので、よかったら見に来てくださいね。（林）



## HAPPY えんぷりデイ

★今年の夢パまつりでも、全天候広場に飛入りステージが出現。掲げた大弾幕には『登流もん』と書かれている。あれ？文字が違う？…そうなんです！今回の登竜門には思いが詰まっていたんです。「みんなで登ろう流れるようなみんなのすがたがみたいんだもん」（略して『登流もん』）！思いが伝わり、ステージには笑顔がいっぱい！素敵なみんなの姿が見られたよ！夢パ最高～！（のすけ）

★月イチの「アート講座」、今回は画用紙に水を含ませて絵の具を流す「にじみアート」に挑戦。片っ端から大胆に色をのせていく人、床までビショビショにしながらかく子、勢い余って紙が破れてしまう人…。どの作品も面白い！ってみんなが知ってるから、とにかく伸び伸びアートする。楽しい気分がたっぷり感じられる作品で、毎年「たまりばカレンダー」を作っています♪今年はどうなるかな？（ハイホー）

★私とトシちゃんの二人三脚（ほぼトシちゃんの奮闘）で作業してきた今年のえん畑。この間ひまを持て余した子たちがふらりと手伝いに来てくれました！太陽の光をさえぎるようにフェンスいっぱい広がったツタを枝切りバサミでザクザク！ジョッキジョッキ！これで陽が落ちるのが早いこれからの季節も安心です。みんなありがとー！（池ちゃん）

# 西野のつばき



川崎のとどろきアリーナで開かれた「第72回日本PTA全国研究大会」川崎大会が終わりました。私はその全体基調講演を務めました。アリーナの四角いセンターステージで、周囲4方向を取り囲んでいるお客さんに向かって、歩きながらの講演は初めての経験。会場はすごい熱気に包まれ、聴衆は3000人。始まるまではすごく緊張したのに、話し始めたら意外と楽しめたのには驚きました。

大会のテーマは「ウェルビーイングの実現」。なんとも言っていることですが、僕の活動の原点は、学校に行けないだけで死んでいく子をなんとかしなくしたいということ。出会ってきた多くの子どもたちから学んだこと、それは「私たち別に学校が嫌いなのじゃない。学校が安全で、安心して、楽しく学べるならば、本当は学校に行きたいんだよ。でも、そこが安全じゃない、安心できない、楽しくないから、行けなくて困っているんだよ」。学校に行かなくなった子どもたちの多くがこのように訴えてきました。

だからまずもってやらなければならないことは、学校を変えること。間もなく高齢者の仲間入りする自分だが、残された時間を使って、なんとしても公教育を変えたい。先日子ども家庭庁のアドバイザーの人たちと、長野県で先進的な学びの場づくりに取り組んでいる私立学校を視察に行ってきました。とっても魅力的な学校だったのですが、これをなんとか公教育の場で実現したいと思っています。抽象的な理論ばかり語っていても何も進まないから、できれば川崎の地で、「学びの多様化学校」をつくって、それをモデルとして、全国の学校を変えていきたいという野望を、いろんなところで、いま語り始めています。どこから手を付け始めるか。夢を語り、出会った人たちと語り合い、考えを練り上げることを通じて、夢を一つずつ形にしていきたいと思います。約40年前に学校は変えられると思って、小さな居場所づくりから始めましたが、学校はびくともしませんでした。40年の歳月を経て、いま、世の中の空気が少しずつ変わり始めている実感があります。動くなら「いまでしょ」。いまの学校教育システムを問い直し、高校・大学の入試制度にメスを入れる。とてつもなく分厚い壁に感じられますが、民意が高まり、変革を望む声の大きな潮流になれば、崩せる壁だと信じています。力を合わせて、ともに進みましょう。（西野博之）



川崎若者就労・生活自立支援センター  
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

\*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～39歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。



### 夢パーク こどもゆめ横丁

11月4日(月・祝)11:00~15:00

夢パークの広場に子どもたち自身が考えつくった“街”が出現！お店も商品も全部手作り♪この“街”は子どもたちが主役です。今年もみんなで、みんなの「やりたい」の実現をめざします。(当日は、夢パは 18:00 閉所です。)

※5日(火)臨時施設点検日のため夢パーク全体がお休みです

※6日(水)「えん」はこどもゆめ横丁の代休です

### ★イベント出店(展示)★

★雑居まつり 10月13日(日)10:00~16:00

世田谷区・羽根木公園にて。今年はヤキトリ販売、展示、バザーで参加の予定です。

### フリースペースって、どんなところ？

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第5回 12月21日(土) 10:00~12:00

第6回 2025年2月15日(土) 10:00~12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方  
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」  
参加費 500円 <要予約・各回先着順>  
申込み 第5回 11月1日、第6回 2025年1月6日  
ともに12:30から受付開始

※申込みの際は詳細をホームページでご確認ください。

☆開催日が近づきましたらホームページでご確認をお願いします☆

たまりばホームページ <https://www.tamariba.org>

たまりば Facebook

<https://www.facebook.com/tamaribaNPO/>

## ご支援いただきありがとうございます

(2024.6.1~2024.8.31)

NPO 法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。掲載もれなどの不備がございましたら事務局までご連絡ください。)

赤野香織・一将、朱田貴美、東靖士、安達仁美、新井琴乃、新井野誠、有北郁子、安西卷子、飯沼光津子、五十嵐章夫、池田博毅、石戸ナナ子、市村節子、今村久美、上田春美、内田成信、内田孝裕、梅田浩二、大石雄太、大堀悠、岡田孝子、岡野匡、沖津三千治、奥田礼子、小田切夢仁、小原宏一、加藤裕子、加藤好雄、木崎志保、北千加枝、桑原咲羽、古泉聡洋、小出来誠、齊藤こえ子、齋藤大、佐故潤之輔、山田恵理子、佐藤研二、清水彩可、鈴木一司、鈴木美汐、田老香奈・幸子、高田裕子、竹内昭、手柴充博、友兼清治・悦子、中村公一・勇、中山厚紀、夏堀那美、波瀬浩子、新居千文、野口進、野口由美子、野田岳志、橋本誠一、橋本峻、矢崎達則、畑本和彦、平野知恵、福田久夫、堀池雄司、本田正男、松浦えりか、水野スウ、宮崎芳正、村尾光子、村上麻登香、森口幸信、森田奏恵、森田貴司、安田靖子、山口正芳、山下泰司、山下晴子、山本さとし、山本哲也、吉井望、吉村友紀子、土橋優平、三好洋子、コンペイトウ、社会福祉法人神奈川県共同募金会

### 応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

\*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-789-9812



## コミュニティスペースえんくる

えんくるは、フードパントリーを併設した「まちの広場」です。

子どもはもちろん、誰もが立ち寄れる居場所を目指しています。

〒214-0021 川崎市多摩区宿河原 6-26-24 フジビル1階 TEL: 044-813-5248

公式 LINE

